

【ベストペーパー賞・ベストペーパー特別賞 選定記】

石井信明(第12回情報システム学会全国大会・研究発表大会 プログラム委員長)

2016年11月12日(土)、富山県富山市の富山国際会議場大手町フォーラムにて、第12回情報システム学会全国大会・研究発表大会が開催されました。本大会では、恒例となったベストペーパー(BP)賞と特別賞が選定され、下記のように、森本祥一(専修大学)さんがBP賞を、井田明男(同志社大学大学院)さん、金田重郎(同志社大学大学院)さん、森本悠介(同志社大学大学院)さんが特別賞を、それぞれ受賞されました。

- ・ ベストペーパー賞

森本祥一(専修大学) : 情報システム論に基づく地域活性化アプローチの実践と効果の分析

- ・ ベストペーパー 特別賞

井田明男(同志社大学大学院), 金田重郎(同志社大学大学院), 森本悠介(同志社大学大学院) : 存在従属グラフからRESTful Webサービスの生成

BP賞、特別賞の選定にあたっては、投稿された論文についてプログラム委員が事前の書類審査を行い、その結果、BP賞および特別賞候補9編を選定しました。大会当日は、プログラム委員が手分けをして候補論文の発表を聴講し、大会終了後に、書き物(論文)と発表を総合評価した結果、冒頭のように各賞が決まりました。

BP賞の森本祥一さんの発表については、社会の限界的な問題に対して人間中心の情報システム学の考え方をストレートに適応し、地域の活性化を実現している点が評価されました。また研究方法が、他の課題への適用性、発展性に期待を持てる方法であることも高く評価され、BP賞の受賞となりました。

特別賞の同志社大学大学院、井田明男さん、金田重郎さん、森本悠介さんの発表については、システム開発の重要な課題について技術統合という視点から全体整合性を考えながら継続的に積み上げた研究であることが高く評価されました。また、今後の展開にさらなる期待ができることから、今回の特別賞受賞となりました。

各賞の授賞は、今大会においても、発表者の大会参加へのモチベーションをあげる良い効果が生じたように思います。来年度以降も引き続き、多くの研究発表と活発な議論をよろしく願います。